

1区 中川 千愛

2区 矢内 楓恋

3区 花野 桃子

総合2時間21分52秒
19位/31チーム

1区中川選手、区間賞獲得も
予選突破ならず
来年の雪辱を誓う！

4区 鈴木 樺連

6区 光恒 悠里

5区 鈴木 千晴

10.19 日

プリンセス駅伝

第11回 全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会

2025

in 宗像・福津



11月に仙台市で開催されるクイーンズ駅伝の予選会となるプリンセス駅伝が、福岡県宗像市・福津市のコースで開催され、上位16チームに与えられる本戦への出場権獲得をめざして、31チームによる熱戦が繰り広げられました。

7年連続の予選突破をめざした日立チームは、1区を担当した新人の中川選手がスタート直後から積極的に先頭に立つと、一度も後ろを振り返ることなく走り抜け、プリンセス駅伝では2019年アンカーの小澤夏美選手以来となる区間賞を見事に獲得しました。2区は新人から新人への棒リレー。矢内選手は実業団に入って初めての駅伝にも臆することなく、しっかりと走り切り、上位で棒を繋ぐ力走を見せました。

各チームのエースが集う最長区間の3区では、花野選手が苦しい走りとなりながらも、少しでも良い順位で棒を渡そうと最後まで必死に走り切ってくれました。4区はインターナショナル区間。31チーム中19チームが外国人選手を起用する中、キャプテン・鈴木棒連選手は自分の走りに徹し、日本人選手の中では2番目の順位で棒を繋ぎました。

5区は3区に次ぐ長距離区間で、起伏のある難コースに各チームのエース級選手が出場します。その中でチームの大黒柱である鈴木千晴選手が順位を5つ上げる魂の走りを見せてくれました。

アンカーを務めた光恒選手は何とか予選通過となる16位内でのゴールをめざして全力を尽くしましたが、惜しくも届かず。

日立チームは19位という結果に終わり、クイーンズ駅伝への切符を掴むことができませんでした。悔しい結果となりましたが、大会後の打ち上げ式では、各選手が悔しい思いとともに来年の雪辱を誓いました。

今回の悔しい経験を必ずチームの成長へと繋げてまいります。

当日は、全国から250名を超える大応援団が現地に駆けつけてくださり、各区間の沿道で選手の背中を後押しする熱い声援を送っていただきました。

第1区	7 km
第2区	3.6 km
第3区	10.7 km
第4区	3.8 km
第5区	10.4 km
第6区	6.695 km
全6区間	42.195 km



1 中川 千愛 選手
区間賞! 22分28秒 区間1位
宗像ユリックス >>>> 宗像大社

7.0km
5区

今回の駅伝では5位入賞をチームの目標に掲げて挑みました。その目標を達成するためには、まずは1区で5位以内で棒を繋ぎ、絶対に良い流れを作るという強い気持ちを持って臨みました。

事前に立てたレースプランとは異なるスローペースの展開になったので、自分で引っ張って最後まで粘るレースにしていこうと決めて、絶対に先頭は譲らない気持ち

で走りました。

ラストの切り替えが上手くできずにスパートの伸びの部分がまだ甘かったことで、後続との差を大きくつけられなかったことは自分の力不足を感じました。ラストの切れがあれば、もっと良い流れで棒を渡すことができたと思うので、今後の課題として取り組んでいきます。

チーム目標の5位に届かなかったことは悔しい気持ちと申し訳ない気持ちでいっぱいですが、この悔しい経験をチームがさらに強くなるためのチャンスとしてプラスに捉え、来年は必ずもっと強くなって、日本のトップレベルの選手になって、チームのエースとして引っ張っていく覚悟で日々の練習や普段の生活も過ごしていきます。

来年は、予選通過はもちろん、クイーンズ8に必ず入るために1年をかけて準備をしていきます。

お忙しい中、福岡まで応援に来てくださったたくさんの方々に支えられていることを実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。

監督はじめ、コーチ、マネージャー、トレーナー、チームメイト、このチーム日立として戦ったこの駅伝を1年目から経験させてもらったことは、自分自身にとって貴重な経験で、数多くのことを学べた、そんな大会でした。

チームとしてのレースは終了しましたが、まだまだトラックレースやロードレースは続きますので、日立のチーム力を上げるため、個人個人がレベルアップしていけるように努めていきます。これからも応援の程よろしくお願い致します。





矢内 楓恋選手

11分38秒 区間 14位

宗像大社

勝浦浜

3.6km

実業団選手として初めての駅伝は 2 区を走らせていただきました。大会を迎えるまで緊張よりもワクワクの気持ちが強くあり、3.6km の短い距離でしたが、楽しんで走ることができました。

しかし、貧血の状態が改善して調子が上がっていただけに、自分が目標としていたタイムをクリアすることができなくて悔しい気持ちも大きくあります。

今後に向けては自分で自分の限界を決めず、当たり前前のレベルを上げていき、来年のこの大会もメンバーとして良い走りをしてクイーンズ駅伝も走ってチームに貢献したいです。

練習や普段の生活もっと改善して、全国でも戦える選手になれるよう頑張っていきます！

大会当日は遠くまで応援に来ていただき、ありがとうございました。

今まで経験したことのないたくさんの応援に、走っている最中は

とても力をいただきました。来年は、もっと強くなった HITACHI をお見せできるように頑張ります！



花野 桃子選手

36分44秒 区間 21位

勝浦浜

宮地浜

10.7km

プリンセス駅伝で3区を走りました。

昨年まではチームメイトに頼ってしまう駅伝となっていたので、今年は頼ることにならないように、自分がしっかりとロング区間を完璧に走りたいという思いで練習してきました。

しかし、駅伝前になって思うように練習できない日が続いてしまい、結果的に順位を大きく落として前半の良い流れを断ち切ってしまいました。

チームメイトは良い走りをしてくれましたが、クイーンズ駅伝に行けない状況を作ってしまったことに責任を感じています。今回の失敗を取り返せるように、また 1 から練習していきます。応援していただけるような走りができるように精一杯頑張ります。



鈴木 樺連選手

12分35秒 区間 20位

宮地浜

福津市複合文化センター

3.8km

たくさんの応援、本当にありがとうございました。

キャプテンになって初めての駅伝で、全員で 5 位入賞という高い目標を掲げて今日まで一生懸命準備して臨んだレースでしたが、惨敗してしまいました。とても悔しい結果であり、次の仙台で行

われるクイーンズ駅伝を楽しみにしてくださっている方々に申し訳なく思っています。

ただ、今日走っている途中で日立の大応援団から受けた声援は、私の背中をすごく押してくださいました。駅伝はまた来年となってしまいましたが、これから女子陸上部の応援をよろしくお願いいたします。さらにパワーアップしてこの地に戻ってきます！





鈴木 千晴選手

34分57秒 区間9位

福津市複合文化センター >>>> 宗像大社

4月から故障の影響があり、中々レースへ出場ができない日々が続きました。

半年ぶりのレース復帰となった今回は、苦しい時に寄り添ってくれた方々へ、走り感謝を伝えたい想いがありました。

5区を走り、本戦出場圏内まで粘りましたが、ゲームチェンジャーとなる勢いをさらに引き出したかったです。駅伝は感謝の想いをチームで掛け算し表現できることが醍醐味です。今回は予選落ちとなり、皆さんへ結果で表現できませんでしたが、負けたことで見える景色があると思います。大きくジャンプするにはバネをためる時があるように、負けた悔しさを力に変えて、また飛躍できるチームと信じて一年間精進していきます。

また競技力だけではなく人間力を高め、大舞台で結果を表現していけるアスリートをめざしていきます。私のモットーである「まだまだこれから」を、たくさんの方へ勇気と共にこれからも伝えていきます。現地、テレビから沢山の応援をいただきありがとうございました。

10.4km



光恒 悠里選手

23分30秒 区間28位

宗像大社 >>>> 宗像ユリックス

6.695km

自分を信じてアンカーを任せてもらったにもかかわらず、応える走りができず申し訳なさでいっぱいでした。最低限、ボーダーラインを守ることが自分の仕事でしたが、これが今の自分の実力だと思います。ずっと思うように走れないレースが続いているので、まずはしっかり自分と向き合って、原因を見つけてい

きたいです。

今すぐに立ち直ることはできないかもしれませんが、必ず前を向いて、また元気に走っている姿をお見せできるように頑張ります。温かいご声援、本当に嬉しかったです。ありがとうございました。



たくさんの応援ありがとうございました！ さらにパワーアップしてこの地に戻ってきます！

